

第27回

# 高知県文化環境功労者表彰

事 績 概 要

高 知 県



## <文化の振興>

(高知市)

たに むら やす ひさ  
谷 村 泰 久 氏

(主な略歴)

昭和48年～平成23年	高知県 高等学校音楽科教員
昭和62年～平成28年	高知市民合唱団指揮者
平成4年～平成10年	高知県合唱連盟副理事長
平成10年～平成22年	高知県合唱連盟理事長
平成11年～平成14年	よさこい高知国体実行委員会 式典専門委員会式典音楽部会 合唱小部会部会長
平成11年～平成16年	高知県高等学校音楽教育研究会会長

(功 績)

県内各地の高等学校音楽科教諭を長年務め、学校の音楽部や合唱部の顧問・指揮者として多くの生徒を指導するとともに、高知市民合唱団の指揮者として指導を行い、県内の合唱の振興に努めた。

また、国体やよさこいピックなど全国的なイベントにおける式典音楽の合唱隊指導に携わり、県内合唱団の技術と芸術性の向上に大きく寄与するなど、文化の振興に貢献している。

## <文化の振興>

(高知市)

さい ばら いく こ 氏  
西 原 育 子  
きく ゆ せ いく こ  
( 菊 由 瀬 育 子 )

(主な略歴)

昭和36年～	開軒
昭和61年～	菊由瀬会主宰
昭和61年～	公益社団法人当道音楽会高知支部 理事・支部長を歴任
昭和64年～	高知大学邦楽部指導
平成11年～平成15年	高知県三曲協会常任理事

(功 績)

78年の長きにわたり芸一筋に勤しみ、その間200回を超える演奏会への参加や主宰を務めるほか、東北大震災チャリティー演奏会を開催するなど、精力的な演奏活動を行っている。

また、後進の指導にも尽力し、門人の育成をはじめ、高知大学邦楽部などの指導や、20年以上にわたる小学校でのボランティア活動に取り組むなど、日本の伝統芸能の継承発展や文化の振興に貢献している。

## <文化の振興>

(高知市)

やまもと ますこ  
山本 眞壽子 氏

(主な略歴)

平成4年～平成11年	高知シルク協会会長
平成14年～平成28年	いの町教育委員会教育委員
平成15年～	NPO法人「おかいこさん学校」理事長
平成16年～	高知県文化財団理事

(功 績)

染織活動家として、日展や日本新工芸展など多数の展覧会に入選、入賞するとともに、染織工房はた舎（はたや）を設立し、養蚕から糸紡ぎ、機織りまでの全工程を手掛けている。また、教材として自費出版した「染織の手引き」を各学校図書館に寄贈するなど、伝統工芸としての染織技術の普及に努めている。

また、長年にわたり文化芸術の実践者の代表として、高知県文化財団理事を務めるなど、県立文化施設の運営に寄与されており、文化、芸術の振興に貢献している。

## <文化の振興>

(高知市)

たけ うち あつ お  
竹 内 淳 雄 氏

(主な略歴)

昭和52年～平成25年	高知県詩吟剣舞連盟理事
平成元年～平成25年	高知岳風会高陵地区会会長
平成23年～平成29年	須崎市文化協会会長 高岡地区文化協会理事
平成25年～平成29年	高知県文化協会理事
平成25年～令和2年	高知県詩吟剣舞連盟会長 高知県吟剣詩舞道総連盟理事長
平成26年～令和2年	高知岳風会会長
令和2年～	高知岳風会名誉会長 高知県詩吟剣舞連盟名誉会長 高知県吟剣詩舞道総連盟名誉理事長

(功 績)

50年以上の長きにわたり詩吟剣舞の研鑽を積み、日本詩吟学院の最高位である上席師範を皆伝するなど、高知県の文化・芸術・教育の振興と発展に寄与した。

また、日本詩吟剣舞団体の要職を務める傍ら、指導者として後進の育成に取り組み、多くの有段者や師範、指導者を輩出するなど、詩吟剣舞の活動とともに、多方面にわたり文化の向上、振興に貢献している。

## <文化財の保護>

(高知市)

い で ゆき お  
井 出 幸 男 氏

(主な略歴)

昭和43年～昭和48年	信濃毎日新聞社編集局記者
昭和59年～平成10年	高知大学教育学部助教授
平成10年～平成21年	高知大学教育学部教授
平成21年～平成24年	同志社大学・奈良教育大学非常勤講師
平成20年～	高知県文化財保護審議会委員

(功 績)

高知大学教育学部教員として、長年にわたり土佐の民俗芸能および民俗歌謡を中心とした研究に打ち込み、後進の育成指導に努めた。

また、高知県文化財保護審議会委員として、高知県民俗芸能緊急調査の実施に尽力するとともに、県内各地で少子高齢化による存続が懸念される民俗芸能を自ら調査し、報告書にまとめるなど、文化財の保護に貢献している。

